ELPIS

土石流の原因は、「聖マルティンの家」から80mほど離れているところを流れている川の上流が3箇所以上決壊し、土砂崩れを起こし、死者も出ていて、家屋の被害は甚大な数に上るようですが、詳しい事はまだよくわかっていないようです。

私たちも当初、野原昭子さんとは連絡が取れない状態でしたので、ヤキモキしていましたが、ようやく2月27日「電話の修理が済んだよ！」と2度目の電話をすることが出来ました。

今は晴れる日もあるようですが、今度はひどい土埃に悩まされ、利用者も風邪の様な症状が出てきており、みんなの体調を心配していました。

道路はまだあちこち寸断されていて、車の通りは少ないところが殆どで、土砂もそのままに、殆どの家が手つかずの状態のようです。
また、コチャバンバ地区は多くの畑が被害に遭ったので、食料などの高騰も考えられ、これから益々大変になりそうで、また、何が起こるか不安は大きいとのことでした。

幸い、カペディスの畑は離れたところににあり（車で20分ほど）被害は免れたため、そこから野菜を運んでもらったいるそうです。
困っている事を聞くと「冷蔵庫が欲しい！」と言っていました。
（ぜひ購入するよう伝えました）

そのような状態で、ボリビアの復興は日本以上に月日がかかると思われます。
今回は幸いにして、「聖マルティンの家」は難を免れましたが、これを機に災害への見直しを含めて、エルピス会ではどう動いて行くのか、考える必要に迫られています。

もう一つ、悲しいお知らせがあります。
「エルピス会便り45号」でもご紹介したイラリオさん（50歳男性）がお亡くなりになられました。
昨年末頃からやっと生きることへの希望を持ち、ベッドに横たわったままの状態で手作業など頑張られていたそうですが、体調を崩して2日目に病院で帰天されたとのことでした。

※ベッドで横になるイラリオさん

どうぞ、
地球上で起きている全てのことにお祈りください。

2018年3月吉日
エルピス会　俵　靖子

http://erupisukai.jimdo.com/

混乱した現地より、昭子さんがレポートして下さいました

※原文ママお伝えします

泥なだれは川をすべて埋め尽くし、
私たちの家の真後ろ4件と次の道路を直撃しました。
あのビデオの速さを見てください。
ここの裏の家の建て方は囲いの塀と、家の壁が1つで2つの用途に使われる（費用削減のため）こちら側も同じ理由で、隣の家とくっつけて家を建てています。ところがその裏の家が全壊（はじめは泥それから石、そしてあとはすべてのがれきで押しつぶされて）あの勢いで上流からまっすぐ下ってきたのですから、私たちの家も押しつぶされて当然でしたが、神様の手が、その流れを左に直角に曲げ左側の塀をすべてぶち壊しその隣の家の塀も難なく倒し最後はカギのかかった車庫のぶ厚いドアをねじ壊してものすごい勢いで道路に吹き出して2日間濁流が車や、タンス、机、冷蔵庫まで流していきました。
日本で起きたあの津波のように。ただこちらは泥で。

5日後にやっと泥に埋もれながら近くを歩いてびっくり。
裏の家の8分目（私たちの家の屋根の高さ）まで泥で埋め尽くされていたからです。
皆がこれは奇跡だ。神様が障がい者たちを守ったのだとロをそろえて言います。ありがたいことです。ただまだ水で覆われた泥をやっと25日から取り出す作業を始めたばかりです。20日間も手も付けられずに。ですから家の塀が崩れないか心配しています。
私たちの家の上流はもっとひどい状態でビデオで見てわかるようにたくさんの家が泥で埋め尽くされいまだに何もされずにいます。1年たっても状態にあまり違いはないでしょう
私たちの家は主要道路のすぐ傍なのでこの20日でかなりきれいにはなりましたが、雨が降らなくなり土が舞い上がり私たちの目ものどもやられ始め私もマスクをし、今日は眼科に行ってきました。やはり埃だと言われました。

数日後地域の緊急会議で川から10メートルのところから家が建ってるのが1つの被害拡大の原因だと言っていました。私たちの家は川から80mくらいに位置しています。
この2月だけでここ、だけでなくBOLIVIAのあちこちで浸水やがけ崩れなどもあり作物もかなりやられているというニュースでいっぱいですので物価が上がること間違いなしですし、また給料も上げさせられるでしょう。

※土石流のキャプチャ映像、この間僅か数秒です